

令和6年度第2回神岡地域協議会会議録

令和6年7月30日

神岡地域協議会

令和6年度第2回神岡地域協議会会議録目次

■開催日時	1
■開催場所	1
■出席委員	1
■欠席委員	1
■出席職員	1
■次第	1
■開会	2
■会長あいさつ	2
■支所長あいさつ	2
■会議録署名委員の指名について	3
■案件	
①地域枠予算活用事業について	3
②大仙市誕生20周年記念事業について	5
■その他	5
■閉会	1 2
■署名	1 2

令和6年度 第2回神岡地域協議会 会議録

■日 時：令和6年7月30日（火） 午後2時

■会 場：神岡市民センター 3階 大会議室

■出席委員：9名

太 田 久美子、 岸 てい子、 工 藤 容 子、 小 松 雅 志、
今 美 佳、 佐々木 琢、 佐 藤 和 彦、 鈴 木 美 保、
宮 原 早 苗

■欠席委員：5名

小 林 堅 一、 佐々木 宮 廣、 高 橋 保、 高 橋 昇、
藤 井 健

■出席職員：5名

鈴 木 正 人（神岡支所長）
齊 藤 義 則（市民サービス課長）
佐々木 裕 子（農林建設課長）
須 田 芳 恵（地域活性化推進室 主幹）
佐 藤 孝（地域活性化推進室 主査）

■次 第：

- 1 開 会
- 2 会長あいさつ
- 3 支所長あいさつ
- 4 案 件
 - ①地域枠予算活用事業について
 - ②大仙市誕生20周年記念事業について
- 5 その他
- 6 閉 会

(午後 2 時 開会)

○事務局

本日は、お忙しいところご出席いただきましてありがとうございます。ただ今から、令和 6 年度第 2 回神岡地域協議会を始めさせていただきます。

はじめに、佐藤会長よりご挨拶を頂戴いたします。

○神岡地域協議会 佐藤会長（以下「会長」と表記）

皆様ご苦勞様でございます。7 月は大変な大雨で、皆さんには難儀をかけたのかなと思います。特に支所の皆さんには本当にご難儀をかけまして、大変ご苦勞様です。最近では毎年 7 月になれば水害が発生しているようですので、今後も続いていくのかなと不安なところもあります。命が大事ですので、皆さん本当に気を付けていただければと思います。

それから、前から協議会でも話があった福祉センターの解体工事も始まったようですので、色々と新しく変わっていくのかなと思っております。

それでは、協議に入っていきたいと思しますので、よろしくお願いいたします。

○事務局

ありがとうございました。

続きまして、鈴木支所長よりご挨拶を申し上げます。

○鈴木支所長（以下「支所長」と表記）

本日はお忙しいところお集まりいただきまして誠にありがとうございます。

はじめに、7 月に発生しました災害の状況についてご報告させていただきます。

まず、7 月 9 日から 10 日に発生した豪雨では、住家の浸水被害が 5 棟、非住家、こちらは車庫ですが、そちらの被害は 1 棟、事業所の被害が 2 棟ありました。合計 8 棟の被害となっております。ピーク時の通行止めにつきましては 11 箇所、道路被害が 1 件、河川被害が 3 件、農作物の被害が 29.3 ヘクタール、こちらは主に大豆になります。また、農地の被害については 3 件、林道被害については 2 件ございました。

次に、7 月 25 日から 26 日の豪雨では、住家の床下浸水が 2 棟、非住家、こちらは車庫ですが 1 棟、事業所が 1 棟、計 4 件の被災がありました。ピーク時の通行止めは 7 箇所、農作物被害が 28.39 ヘクタールとなっております。

また、どちらの豪雨でも中川原公園につきましては水に浸かっておりまして、多くのゴミが流れついているという状況になってございます。

次に、この協議会の懸案事項になっておりました B & G プールの状況についてご報告いたします。6 月の大仙市定例議会におきまして、プールについては廃止することが正式決定してございます。ただ、同じ議会の中で、その跡地には雨が降った時や冬場でも子ども達が走り回って遊ぶことができる屋内遊び場施設、県内最大級の規模になろうかと思いますが、そちらの施設を建設するというのも、同じく決定をしております。将来的には、神岡地域が子育て世代の皆さんの憩いの場となることを期待しているところでございます。

さて、本日になりますが、これまでの地域予算の活用実績についてのご報告と、秋に大仙市誕生 20 周年記念事業として、かみおか地域文化祭と同日開催を予定しております「すくすくキッズフェズ」の内容についてご審議賜りたいと思しますので、皆さんには忌憚のないご意見をいただきたいと思いますと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

○事務局

本日ですが、神岡中央公民館の大野館長は所用により欠席とさせていただきます。

それでは、この後の会議の進行につきましては、大仙市地域自治区の設置に関する条例第8条4項の規定に基づきまして、佐藤会長にお願いいたします。

○会長

それでは会議を始めます。

本日、小林堅一委員、佐々木宮廣委員、高橋保委員、高橋昇委員、藤井健委員より欠席の届け出がされておりますが、委員の2分の1以上の方が出席されておりますので、会議は成立することをご報告申し上げます。

次に、会議録署名委員を指名いたします。会議録署名委員は、太田久美子委員と小松雅志委員にお願いいたします。

それでは案件に入ります。はじめに案件1の地域枠予算活用事業について、事務局より説明をお願いします。

○事務局

【資料に基づき説明】

行政主導型

・青空ヨガ教室

事業の目的：神岡中央公園を会場に、年齢・性別に関わらず参加が可能なヨガ教室を開催することで、地域活性化と子育ての拠点となるエリアの魅力を体感していただくとともに、世代間の交流を促進し、地域の賑わい創出に繋げる。

予算額：10,000円

市民協働型

・地域ボランティア活動育成事業

事業の目的：神宮寺地区内のさくら樹木の剪定やクリーンアップ活動により、会員及び市民の環境保護・美化意識の向上を図る。

申請者：さくらの会

申請額：644,000円

・自治会連合会組織支援事業

事業の目的：住民との連携を図りつつ、清潔で美しく、安心・安全な地域のため、住民と行政による協働のまちづくりを目指し、組織の更なる強化と事業の充実を図る。

申請者：神岡地区自治会連合会

申請額：371,000円

・2地域（神岡小学校・平和中学校）整備事業

事業の目的：地域と学校が連携し、神岡小学校と平和中学校の花壇づくりをすることによって、地域交流の輪を広げるとともに、地域の環境美化に資する。

申請者：神岡地域花壇連絡協議会

申請額：４５６，３２４円

市民主導型

- ・神岡地区東部親の会納涼祭

事業の目的：神岡地区東部に居住する児童や家族等を対象とした納涼祭を行うことで、世代を超えた交流を図りつつ郷土愛を育み、また、継続的に行うことにより、地域を未来に繋げていくことを目的とする。

申請者：神岡地区東部親の会納涼祭実行委員会

申請額：６９，７８９円

- ・神岡地区自治会連合会まちづくり研修会

事業の目的：神岡地域の町づくりの参考とするため、男鹿市北浦の雲昌寺（あじさい寺）を見学し、外部からの訪問人口を増やすための方策を探り、近隣商店の営業の仕方、駐車場の運営方法等を視察する。また、同じ男鹿市船川の彩雲庵を見学し、個人が４０年以上かけて作製した庭園を鑑賞し、多くの人の関心を集める施設の在り方を考える。

申請者：神岡地区自治会連合会

申請額：８４，０００円

○事務局

資料に関しての説明は以上となりますが、地域枠予算の関係で一点ご報告がございます。

神岡地域のオリジナルカレンダー作成事業についてでございます。資料の方に特段記載はありませんが、本来であれば、今年度作成するカレンダーについて皆様からご意見を伺う時期となってきたのですが、地域枠予算の活用につきまして、地域によるバラつきなどが出てきていることから、見直しが進められているところでございます。カレンダーの作成事業につきましては、神岡地域では平成３０年度から実施をしております、今年で７年目となる事業でしたので、見直しを行う時期になっていたところです。そして、地域枠予算の見直しの関係で、カレンダーを含む印刷物の作成と配布といった事業につきましては一律で見直しが行われまして、地域枠予算を活用しての実施というのは原則、行わないこととなっていました。地域の事業として定着してきたところでもありますし、大変好評なカレンダーでもありましたので、非常に残念なところでもありますし、皆様へのご説明も、これから丁度考えていくギリギリの時期となってしまうして大変申し訳ないところではございますが、どうかご理解を頂ければと思います。

このカレンダーに代わると言いますか、委員の皆様として、又は地域の皆様として、こういった事業をやってみてはどうかですとか、こういった事業をやりたいというご意見、ご提案等がございましたら、この場で今すぐというわけではありませんが、どんどん出していただければ、実現に向けた話し合いをさせていただきたいと思っておりますので、神岡地域を盛り上げていくためにもぜひご協力をお願いしたいと思います。

地域枠予算について、恐らくこの後も色々と見直しが行われていくことかと思うのですが、こちらに情報が入り次第、皆様の方にもご報告をさせていただいて、委員の皆様からいただいたご意見については本庁の方に伝えてまいりたいと思っておりますので、どうかよろしく願いいたします。

長くなりましたが、地域枠予算活用事業についての説明は以上となります。

○会長

ありがとうございました。ただ今の事務局からの説明に対しまして、委員の皆様からご意見、ご質問等はございませんか。

(意見等なし)

ないようですので、地域枠予算活用事業については以上といたします。

続きまして、案件の２番、大仙市誕生２０周年記念事業について、事務局より説明をお願いいたします。

○事務局

【資料に基づき説明】

- ・大仙市誕生２０周年記念事業「すくすくキッズフェスin神岡中央公園」について

○会長

ありがとうございます。ただ今の説明につきまして、ご意見、ご質問等はございませんでしょうか。

○宮原早苗委員

よろしいでしょうか。１０月２６日というのは今年と来年どちらでしょうか。

○事務局

今年になります。

○会長

ほかにありませんでしょうか。

(意見等なし)

こういうイベントが、２０周年ということで事務局の方から話がありましたので、協力できる方はぜひ参加していただければと思います。地域全体で盛り上がっていただければと思いますので、ぜひよろしくお願いいたします。

ほかになれば、大仙市誕生２０周年記念事業については以上といたします。

次に、次第の３．その他に入ります。事務局の方からお願いいたします。

○事務局

それでは、こちらから二点ほどご報告と連絡をさせていただきたいと思います。

はじめに、彩色千輪プロジェクト事業の長沼自然観察会についてご報告をいたします。

【資料に基づき説明】

続けてもう一点、ご相談という形になりますけれども、地域協議会の研修会についてです。例年実施しております神岡地域協議会の視察研修についてですが、地域協議会の研修について

大仙市の西部地域、神岡、南外、西仙北、協和の4地域で合同研修会を行ってみてはどうかという提案が他支所の地域活性化推進室から寄せられております。視察研修や講演会も、地域単独では参加人数が少なくなってしまうということもあり、合同で開催することで研修を充実させたいという意見でありました。東部地域についてはすでに合同研修の形式をとっているとのことでありました。そこで、皆様に研修会の開催方法等についてご意見をいただきたいと思えます。ちなみに今年度は、協和の地域協議会研修で講演会開催の企画があり、開催は9月12日木曜日午後3時半からで会場は協和公民館和ピアを予定しているとのことでした。講師は、北秋田市で地域おこし協力隊をされた後に起業されている女性です。また改めて、詳細が決まり次第お知らせしたいと思います。私からの説明は以上になります。

○会長

ありがとうございます。ただ今の説明につきまして、ご意見、ご質問等はございませんでしょうか。

○会長

東部地域ではすでに合同で開催しているということでしたが、こういった内容の研修を行っているのでしょうか。

○事務局

具体的な内容につきましては、まだ把握しておりませんが、その年によって視察研修や講演会を持ち回りで行っているのではないかと思います。

○会長

毎年、単独ではなくて、担当を持ち回りでやっているということですね。

去年は、防災学習館や道の駅を回る視察研修であったが、今年度は西部地域合同で研修を行いたいということですか。

○事務局

そうですね。西部地域の地域活性化推進室では、少し前からそういった提案が出ておりまして、単独開催だとなかなか参加人数が集まらず、視察に行くバスの使用にしろ、講演会で講師を招くにしろ、単独では少し寂しいものがあり、合同で開催することでより充実した内容にできればという意見でありました。

○会長

では、9月12日にみんなで協和に講演を聞きに行くということですね。

○事務局

はい。バスで神岡地域まで行って、又は他の支所を回りながら会場の和ピアまで移動することになるかと思います。

○会長

3時半から2時間くらいでしょうか。

○事務局

1時間ちょっとだと思います。

○支所長

今回は、協和の地域協議会からの提案だったのですが、地域協議会委員の方々の交流も目的としたものとなります。

○会長

今年は単独ではなく、合同で開催することですね。

○事務局

今まで通り神岡地域単独でというようなご意見やご要望があれば、もちろんそれも可能ですし、今年度は試験的に合同で行ってみるという方法もあるかとは思いますが。

○会長

それでは、せっかくのお誘いでもありますし、他の地域協議会と交流しながら合同開催で進めるということで、皆さんよろしいでしょうか。

他に何かご意見等ありますでしょうか。

○工藤容子委員

別件になりますが、前回の協議会で話が出た小学校の夏休みのプール利用について、地域枠を活用して管理人をおくような話は進んでいるのでしょうか。

○支所長

その件につきましたは、小学校や教育委員会と協議をいたしました、最終的には学校の方でなかなか難しいということで、こちらが関与することはできないということになりました。今年は小学校とPTAの方が連携してプールを開催しているようです。その状況も踏まえながら、来年度以降のことも検討して参りたいと思います。ただ、中学校からはプールを利用したいという要望がありませんでしたので、小学校の課題になるかと考えています。

○会長

よろしいでしょうか。

○宮原早苗委員

B&G プール解体後の子どもの屋内遊び場施設には管理人を置くのですか。

○支所長

まだ具体的な内容は決まっておりませんが、管理人をおくのか指定管理制度ということで、今の嶽ドームは民間事業者に委託しておりますが、どういう形で行うのかは今後の検討になるかと思いますが、いずれにしてもしっかりした管理体制を取りますので、大丈夫です。

○会長

他に何かありますでしょうか。

○佐々木琢委員

キッズフェスは地域文化祭とは違うものなのですか。

○事務局

はい、そうです。地域文化祭はこれまで通り公民館主管の実行委員会で開催するのですが、同日開催ではありますが、キッズフェスは20周年記念事業として行います。同日開催ということで相乗効果は期待しておりますが、別のイベントとして行います。

○支所長

8月の広報に夏祭りを紹介するページがありますが、神岡地域だけ夏祭りがなく、夏以外にも他地域には、いろいろな祭りがありますが、神岡は主だった祭りが無いということで、今回のキッズフェスの企画となりました。20周年記念事業として開催するにあたって、夏が良いのか他の季節が良いのか検討しましたが、初開催ということもあり、地域文化祭と一緒に開催した方が効果的であると考え、試験的にやってみたいと思います。これが成功した場合は、できれば継続的に行って、神岡地域を代表するような祭りに育てていきたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

○会長

これは屋外でやるのですか、室内でやるのですか。

○事務局

天気が良ければ、基本的には屋外で開催したいと考えておりますが、嶽ドームのほうも予約しておりますので、天候が悪い場合は屋内で開催します。

○会長

これまでは地域文化祭でも嶽ドームを使用していたと思うが、その点については。

○事務局

地域文化祭の催し物も考慮して、相談しながら進めていきたいと思います。

○佐々木琢委員

例年、地域文化祭で展示やよさこいなどのステージ発表が開催されているが、雨でキッズフェスが嶽ドームでの開催になった場合、それらが中止となることはないですね。

○事務局

地域文化祭の催し物が中止になるということはなく、地域文化祭も例年と同じような催し物をやる予定と伺っておりますが、天候に関わらず嶽ドームでやっていたステージ発表を改善センターのホールで行うというような変更は出てくると思います。

○宮原早苗委員

キッチンカーは屋内に入れないから外ですね。

○事務局

そうですね。キッチンカーは他のイベントでも雨天時も外で行っておりまして、天候が悪いとお客様は不便かもしれませんが、飲食ブースのテントは用意する予定です。

○支所長

キッズフェスについては、まだまだ色々な出店を募集しておりますので、なかでもワークショップの開催とか、どうぞご協力をよろしくお願いいたします。

○佐々木琢委員

ストリートピアノとかでも良いでしょうか。

先月、中仙の道の駅で、神岡の今野ピアノ教室と大曲のエレクトーンの教室が合同で演奏を披露したのですが、今回のキッズフェスに参加できるのであれば声をかけさせてもらおうと思います。ピアノやエレクトーンを習っている子どもたちもなかなか披露する場がないので、時間的には30分から1時間でも枠を設けてもらえればと思います。

○事務局

事務局側のアイデアだけでは限界があるので、そういったアイデア出していただけると大変ありがたいです。どうぞよろしくお願いいたします。

○会長

そういったアイデアを出していただくのは大変良いことだと思いますので、皆さん遠慮せずにどうぞよろしくお願いいたします。

○工藤容子委員

他の地域では夏祭りが開催されているということだったが、どういうものを行っているのでしょうか。

○支所長

西仙北では花火大会や灯籠流し、仙北では払田の柵で平安行列や花火大会、中仙のドンパン祭や盆踊りなど、合併前から夏祭りがある地域がほとんどだったが、神岡はなかったことから今の状況になっています。

○宮原早苗委員

夏祭りがなかったということは、これから毎年このイベントをやるということですか。

○支所長

はい、とりあえずキッズフェスをやってみて、時期ややり方を考えていきたいと思いますが、今回好評であれば継続してやったほうがいいし、そうでなければまた違うやり方を考える必要があると思いますが、いずれ地域が活性化するような何かしらのイベントをやって地域を代表するようなイベントに育てていきたいと考えております。

○工藤容子委員

話が戻って申し訳ありませんが、カレンダーに代わるものを考えてほしいということでした

が、カレンダーは好評で費用的にもちょうどよいと思っていましたが、それがダメであればどういったものだと良いのでしょうか。

○支所長

そこが難しい点ではあるのですが、地域協議会が地域を活性化するために存在し、そのPRとしてカレンダーもずっと作成してきたと思うのですが、それが地域活性化に繋がらないというのが本庁サイドの見解で、予算がつかなかったという形です。やはり地域で協力して行うには単に物を配るとかではなく、一緒に参画していただくことが一番大切であると思います。先程のキッズフェスに繋がる所がありますが、イベントに限らず住民参加型で今後も進めたいと考えております。

○会長

カレンダーは絶対ダメなのでしょうか。こちらが良いものだから復活させたいと言っても、やはり無理なのでしょうか。

○支所長

一定の枠の中で削られているものであれば、何とかやりくりすることも可能ですが、事業そのものをカットされたので、それを再度あげても厳しいと思われます。財政課の前に企画部で事業を精査する中で、これは効果が薄いという判断だったので、他の地域もカレンダーをカットされているので神岡だけというのは厳しく、復活はできないと考えております。

○会長

これは効果が薄いということだが、どういったものだと効果があるのか教えてほしい。

○支所長

そこが難しく困っておりますが、個人的な考えとしては、例えば東部親の会の納涼祭などは子どもたちの記憶に残る良い事業だと思います。大きな規模でなくても、単体の自治会では予算がなくというような所に地域枠予算を活用しながら行っていただきたいし、地域独自のものでも補助金があればできるようなものがあれば行っていただきたいと思います。

○会長

はい、分かりました。他に何かありませんか。

○齊藤市民サービス課長（以下「市民サービス課長」と表記）

前回の地域協議会で第5期地域公共交通計画策定に係る地域協議会からの意見書について提出をお願いしており、委員の皆様からいただいておりますが、まだ提出されていない委員の方はご協力お願いいたします。

またこちらの目的といたしましては、来年度から始まる第5期地域公共交通計画ということで、現在、神岡では乗合タクシーとして奥羽本線とコミュニティバスということで杉山田線と南外線、杉山田線に関しましては平日5往復、土日祝日は4往復、南外線に関しましては平日6往復と土日祝日4往復の運行となっております。ということで、例えば、もっと便数を増やして欲しいとか、料金を下げてほしいとか、もっと路線を細かくして欲しいとか、そういった意見をお願いしたく、今回の意見書提出ということでお願いいたしました。

今日の地域協議会終わりましたら、まだ提出されていない委員の方に関しましては、ご提出をお願いいたします。以上です。

○会長

ありがとうございます。

以前から道の駅のプロジェクトを進めておりましたが、最近は協議が薄くなっているように感じます。以前は集中して活発にやっていたものですから、せっかく以前盛り上がっていた協議なので継続してやっていければと思っております。また、道の駅の方々が地域の核になっていることを分かっているのかもしれないが、盛り上がり欠けている印象もある。食堂のメニューとかも何か面白い企画があればいいと思うが、そんなに相変わらずで、13号線で最初にできた道の駅ということもあり、古くて作りが今風でないということで、難儀されているようです。せっかく以前、地域協議会でも意見を出し合ったのだから、もっと盛り上がりければと思います。

○支所長

道の駅については、彩色千輪プロジェクト事業で、神岡地域の拠点として事業を始めてきており、本来であれば今年度までということを進めて参りましたが、会長さんが先程おっしゃっていた通り、神岡の道の駅は古くて、イベントをやるにも駐車場がなかったり、建物も狭かったりということで、思うようにいかなかったというのが現状です。

そこで、このことについてまとまってから協議会にかけようと思っていたのですが、先程お話ししたB&Gプール跡地に子どもの屋内遊び場施設が建設された後は、子育て世代をいっぱい集めて、本当に神岡が大仙市の子育て世代の中心となり、さらに近くに温泉があつて、親子孫の三世代と一緒に遊びに来て時間を過ごすことができるようになるのではないかと。またそれは、神岡地域の方はもちろんですが、大仙市民や市外の方々も来ることが期待されますので、将来的には拠点を中央公園周辺地域に移したいということも考えておりますので、そのことにつきましても今後ご審議いただきたいと思います。

ただ、道の駅につきましては今回の6月議会で、リニューアルして駐車場を広げたり建物を新しくするというような方向で進んでいくということだけは決まっておりますので、その方向性の如何によっては道の駅を神岡地域の拠点として継続するという事も考えられますが、場所が神岡地域の端にあつて、路線バスも通らなくなって、宇留井谷地の方も道の駅に行くのが難しいという現状がありますので、そういったことも踏まえて、果たしてこのまま拠点施設にしておいてもいいのかという課題もありますので、後ほどある程度形になってから、提案させていただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

○会長

ありがとうございました。

○市民サービス課長

補足ですが、令和4年度に地域協議会の皆様が道の駅かみおかについてワークショップやアンケートなど色々な検討をされた結果については、道の駅かみおか再整備基本構想にふんだんに盛り込まれております。それが今、基本計画の策定に進んでおりますので、その点を補足として説明させていただきます。

○会長

ありがとうございました。
他にありませんか。

(意見等なし)

ないようですので、本日の協議は全て終了となります。
これをもちまして、令和6年度第2回の神岡地域協議会を閉じさせていただきます。
長時間にわたり大変お疲れ様でした。

(午後2時53分 閉会)

神岡地域協議会運営規程第7条第2項の規定によりここに署名する。

会議録署名委員
